

令和5年度実施 協働提案事業一覧

新規 継続	事業名	提案者	提案事業の概要	担当課
市民提案型 新規	「たかしまで女性のライフワーク を叶える」プロジェクト	Pivot(ピボット) 代表 田中 可奈子	国県市の行政の各層で女性活躍や起業の推進が謳われており、女性の就業率は増加していますが、88.3%が雇用者であり、現実には多様な働き方とはなっていません。また、「起業」という言葉に「資金」や「技能」でハードルを感じる人が多いと思います。 本事業では、自身の想いや経験を形にして商品開発を行い、収益につなげることを「起業」と定義します。市内で開催されるマルシェに出店して、自身の取組みを紹介したり、商品の内容を表現するチラシやPOPなどの販促物を自身で言語化して作成できるようするなど、自己開発・自己実現の取得を目的に事業を行います。 この事業により、「仕事になるやりたいこと」を発掘して、女性が自身でも気づくことができている想いや能力に気づき、自己開発を行うことができます。また、自分の想いを言語化する技術を身につけることにより自己表現のきっかけをつくることができます。	人権施策課
行政提案型 新規	スポーツの可能性を広げる、新しいウォーキングイベントの開催	認定NPO法人TSC 代表 北川 渉	国が定めるスポーツ実施率の目標は、約3人に2人が週1回以上スポーツを行うこととしていますが、現時点で高島市においては3人に1人程度に留まっているのが現状です。しかし、同時に表現の多様化が進みスポーツを明確に定義することは難しくなっていて、幅広い解釈でスポーツを捉える必要性が出てきています。 例えば、「オシャレな服で、カッコいい手袋をはいて、街並みや里湖の豊かな自然を楽しみながらゴミを拾い、ゴール地点で開かれる小さなお祭りを目指し、ワクワクしながら歩きます。そして、拾い集めたゴミを使って、アーティスト達がおの日限定の創作アートを生み出す」というウォーキングイベントを開催するなど、スポーツの新たな可能性に挑戦します。 SNS発信を積極的に行うことで市外からの参加を促進し、「カッコよさ」「健康促進」「環境意識」「交流」など、スポーツに関わるきっかけを多方面に展開することで、課題解決を図ります。	市民スポーツ課
行政提案型 継続	高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及	FEC自給圏ネットワーク 代表 ディーガン美佐子	高島市では、地球温暖化対策実行計画の策定を進めていますが、その実行性を高めるため、課題の抽出、将来シナリオの検討等を行って、計画づくりへの市民参加の実現を目指します。また、再生可能エネルギーと省エネルギーの普及活動を行います。 R4年度の活動を踏まえ下記の事業を行います。 1. 地球温暖化防止の計画づくりに市民参加の場をつくり、共に「熟議」します。 2. リーフレットを活用し、市民事業者に太陽光発電設置、省エネの普及を行います。 3. 「エネルギーの未来と地域活性化」(仮題)テーマのイベントを開催します。 (1)イベント出店(ソーラーパネル、住宅、小水力発電、薪ストーブ、林業、オーガニック) (2)講演会(太陽光発電、小水力、風力、住宅の断熱化、その他)	環境政策課